

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-005								
PDCA	事務事業名	新美南吉記念館企画展	部課等名	教育部 念館	博物館 新美南吉記	担当 神谷 内線等 26-4888		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち						
		節： 第2節 生涯学習の推進						
		基本施策： 3. 文化の継承と創造						
		単位施策： (3) 新美南吉の顕彰と南吉文学の普及						
	根拠法令等	個別施策： ①企画展・童話賞事業						
	対象・目的	常設展示とは違う視点で南吉とその文学を取り上げた企画展や特別展を開催することで、新たな魅力を感じてもらう。						
	目的を達成するための手段・活動内容	毎年違うテーマで、常設展示とは別に期間限定の企画展・特別展を開催する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①特別展の開催日数		93	92	中止	日	
		②ミュージアムトーク(学芸員による展示解説)		8	10	中止	回	
		事業費		2,794	3,323	680	千円	
		人件費		9,062	7,967	6,321	千円	
		総事業費		11,856	11,290	7,001	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①企画展観覧者1人あたりの企画展開催コスト		261	188	299	円		
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①特別展1日あたりの観覧者数	実績値	258.2	268.5	中止	人	
			目標値	310.0	310.0	中止		
		実績値						
		目標値						
		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の 評価・課題	C						
		春季企画展「原口侑千ごんのかわら版四コマ漫画展」では、漫画というこれまでにない柔らかいテーマにより南吉ファンだけではなく幅広い層の関心を集めることができた。秋季企画展「児童雑誌『カシコイ小学生』に集った作家と新美南吉」では、学生時代の南吉が多くの幼年童話を発表しながらほとんど知られてこなかった学年誌『カシコイ小学生』について、県下初公開の貴重な原画も展示しながら詳しく紹介することができた。ただし、コロナ感染拡大を受けた4・5月の臨時休館により春季企画展が後ろにずれたことと、東京での調査・資料借用ができなかったため、夏期に予定していた東京オリンピック開催記念特別展「南吉のTOKYO 1932-1936」が中止となった。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
		新美南吉の魅力発信という核心を貫きながらも、時宜的な話題を捉え、南吉及びその文学の魅力を毎年の企画展・特別展の内容に反映することで、来館者が何度も足を運びたい記念館となるよう、今後も充実を図る。令和3年度は、コロナ禍を受けて愛知県のアーティスト緊急支援事業として漫画化された南吉の短編小説「花を埋める」の漫画原画展、感染症が南吉に与えた影響を通してコロナ禍のいま南吉文学から何を読み取れるかを問う特別展、自由に旅行ができない今、南吉が訪れた観光地の当時の様子を日記や作品と共に紹介することで旅行気分を味わってもらおう企画展など、コロナ禍のいまだからこそそのテーマ設定で南吉に魅力を発信する。						
	令和3年度の目標	成果指標		目標値		単位		
		特別展1日あたりの観覧者数		300		人		